

道徳学習指導案

対象 第2学年

1 主題名 他に学ぶ 2-(5)

2 資料名 「茂の悩み」(道徳教育推進指導資料2)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

個性とは、一人一人の人間がもつ固有の他ととりかえることのできない独自性である。人間は、物事についてその全体を知り尽くすことは難しく、自分なりの角度や視点から物事を見ることが多い。そこで大切なことは、互いが相手の存在と独自性を認め、相手の考えや立場を尊重することである。また、個性は、決して自分一人で伸びるものではなく、他に認められながら伸びるものである。互いのもつ異なる個性を見つけ、違うものを違うと認め、ときには許す私心のない寛容の心、偏狭なものの方や考え方のない広い心を育てることが求められる。

(2) 生徒の実態について

中学2年生の時期は、ものの見方、考え方に違いが現れてくるとともに、個性がはっきりしてくる。そのために、自分の考えや立場に固執したりする傾向が強くなり、友人間に意見の対立や摩擦が生じることも少なくない。その一方で、同調過剰の傾向も生じやすく、いじめのような社会問題に発展することもある。また、中学2年生の時期は、反抗期にもあたり、独自性が出て来るために、そのプロセスとしてわがままを言ったり、寛容さと謙虚さに欠けるというようなこともある。

自らの意志に背いて他に同調するのではなく、多様な個性を認め、それぞれの差異を尊重するという態度を育てたい。

(3) 資料について

主人公の茂は、バスケットボール部のキャプテンである。友人や、後輩の一年生の意見を聞き、部活動で技量の劣る正夫を、キャプテンという立場を利用してレギュラーメンバーからはずしてしまおうとする。しかし、はずそうと思った友人の努力を惜しまぬ真摯な姿に触れて揺れ動く姿が描かれている。相手の気持ちを尊重しない茂の姿を押さえた上で、自分の態度のまずさに次第に気付きながらも、友人や一年生の手前、正夫を犠牲にしてしまおうとする考えを捨てきれない茂の胸中を追求することによって、ねらいに迫りたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、個性や立場を尊重することのできる判断力を育てる。

(2) 指導過程

	学習活動と○主な発問	・予想される生徒の反応	●教師の働きかけ ○指導上の留意点
導入	1 自分の経験を振り返って考える。 ○人により、いろいろなものの見方や考え方があつたなあ、と感じたことを思い出してみよう。		○例を挙げ、考えやすいようにする。
展開	2 資料「茂の悩み」を読み、次のことについて考え、語り合う。 発問①「副キャプテンの浩二に『あんなやつ、外したほうがいいぜ』と言われ、主人公はどう思っただろうか。」 発問②「稔とシュート練習をする正夫の姿を見たとき、主人公はどう思っただろうか。」 発問③（中心発問）「茂はどんな気持ちで、黙って家に帰ったのだろうか。また、主人公の行動について、どう考えるか。」	・浩二がそう言うのなら、外してもいいかな。 ・一年生も浩二と同じ意見だし、その方がいいかな。 ・正夫には犠牲になってもらおう。 ・正夫がこんなに努力していたなんて知らなかった。 ・こんな姿を見たら、とてもレギュラーを外れてくれなんて言い出せないな。 ・やっぱり正夫にレギュラーから外れるなんて言えないな。 ・明日浩二や信一郎になんて言えばいいんだろう。 ・キャプテンだからって、どうしてこんなに苦しい思いをするんだろう。 ・人の意見に左右されてばかりで自分の意見がない。 ・茂は卑怯な感じがする。 ・浩二達や稔にはさまれていて、茂が気の毒。	●資料名を黒板に貼る(T2) ●資料を朗読する。(T1) ●登場人物と、それぞれの正夫に対する立場を整理する。(T1) ●図と文字カードを黒板に貼る。(T2) ●発問カードを黒板に貼る(T2) ●挙手、指名により発表させる。(T1) ●生徒の意見を板書する(T2) ○主人公の「はずしたほうが得策」「一年生の手前犠牲に」など、相手の立場を考えない言動を押さえる。 ●発問カードを黒板に貼る(T2) ●挙手、指名により発表させる。(T1) ●生徒の意見を板書する。(T2) ●小集団の語り合いに加わり、語り合いの内容を深める。(T1・T2) [補助発問]「茂は、どうして黙って家に帰ったのだろうか。」 [補助発問]「そもそも、茂自身はどうしたいのだろうか。」 [補助発問]「これまでの茂の態度をどう思うか。」
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><小集団による語り合いと書く活動></p> <ol style="list-style-type: none"> ワークシートに自分の考えを記入する。 小集団による語り合いを行う。 語り合いの後、再び自分の考えをワークシートに記入する。 <p><学級全体で考えを共有する></p> <p>数人が自分の考えを発表し、学級全体で語り合う。</p> </div>		

終末	<p>3 教師の説話を聞き、それぞれの差異を尊重するという事について考える。</p> <p>4 今日の授業で感じたこと、考えたことを書き、発表する。</p>	<p>●説話をする。(T1)(T2)</p> <p>○互いのもつ異なる個性を見つけ、違うものを違うと認め、ときには許す私心のない寛容の心、偏狭なものの見方や考え方のない広い心を育てる。</p> <p>○個性や立場を尊重することのできる判断力について自分自身を振り返らせる。</p> <p>●ワークシートを回収する。(T1)</p>
----	--	---

(3) 評価の観点

- ・いろいろなものの見方や考え方があることを理解することができたか。
- ・個性や立場を尊重することのできる判断力を養うことができたか。

5 板書計画

